

「学生目線」の地域活性化：日進市との連携

団体：ニョキッコ&ファーマーズ
大学連携拠点：本学グローバル共生研究所

1. 事業概要

本事業は、『こはるもち』を活用した健康志向お土産商品の開発事業』として、令和6年度12月から令和7年3月まで実施いたしました。事業実施主体である「ニョキッコ&ファーマーズ」は、名古屋外国語大学の学生を中心とした団体であり、地域の農産物を活用した商品開発を通じて、新たな地域活性化モデルの構築を目指しています。

2. 事業の目的・背景

日進市では近年、地域特産品であるもち米「こはるもち」の認知度の拡大に積極的に取り組んでいます。しかしながら、従来の単純なもち米としての販売方法では、市場における差別化が困難であることが課題となっていました。

このような背景を踏まえ、本事業では「すべての人や環境に健康を」をテーマに、若年層を中心とした健康志向への高まりや、食への安心・安全への関心の拡大といった現代的ニーズに応える商品の開発を目指しました。具体的には、「こはるもち」を活用したお土産商品の開発を行い、「こはるもち」の販売量拡大を目指すとともに、2025年度に開業予定である日進市の道の駅や市内カフェで販売できる商品の開発を目指しました。

3. ターゲット層

本事業における商品開発を名古屋外国語大学の学生が行うことで、同世代である若年層の価値観やライフスタイル、消費行動を深く理解した商品開発が可能となります。現代の若年層の中でも、特にダイエットや減量・体型維持に関心を持つ食へのこだわりが強い層、カロリーよりも栄養成分や無添加を重視する健康志向層、さらに摂食障害や食事制限中など食べることに抵抗がある層に焦点を当てます。これらの人々が罪悪感なく安心して摂取できる商品の開発は、意義のある取り組みであると考えられます。

4. 事業の実施内容

4.1 協働事業者

本事業では、地域の健康と笑顔をコンセプトに全席バランスボールで営む「はずむ+mii cafe」様および名古屋を拠点にレシピでお菓子作りを広める「スイーツヒーロー」様と連携体制をとり、商品コンセプトの段階から共同で検討を重ね、ニーズに合った商品設計を考えました。

4.2 商品コンセプト

開発した商品には、一貫したアピールポイントを設定いたしました。まず、日進市産農産物「こはるもち」を活用することにより、地産地消の理念を体現し、消費者に対して安心・安全な食材使用をアピールしています。また、スイーツでありながら罪悪感なく楽しめる健康志向商品として位置づけることで、従来のスイーツとの差別化を試みました。さらに、忙しい現代人のライフスタイルに配慮し、手軽な朝食や、小腹が空いた時の間食としての便利性を重視した商品設計を行いました。

4.3 商品開発の取り組み

このコンセプトを具体的な形にするために、「こはるもち」の特性を最大限に活かし、「こはるもち」をミキサーで粉碎し米粉として利用した、シフォンケーキとチャッククッキーの2種類の商品の試作に取り組みました（下記画像参照）。シフォンケーキでは、従来のシフォンケーキのようなふわふわ感を残しながらこはるもちの粒感がアクセントになるものを作成いたしました。

チャッククッキーでは、間食やおやつとして摂取する際の罪悪感を軽減することを目的とし、こはるもちの粒感によってザクザクとした新しい食感を生み出すものを作成いたしました。



5. 事業成果と今後の課題

本事業では、「健康食品を販売して日進市の活性化に貢献する」という目標は現段階では未達成ですが、協働事業者や関係者とコンセプトを共有し、シフォンケーキやチャッククッキーの試作を通じて商品化に向けた改良を重ねたことで、商品開発の基盤を築くことができたと考えています。今後は、具体的なメニュー開発や開発中の商品の完成度向上を進めるとともに、地域活性化につながる経済的な効果の実現を目指します。